

第74回全日本女子ホッケー選手権大会 第4日

開催日時 12月14日(土) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

コカ・コーラWRS、ソニーHCが決勝進出を決める

<準決勝>

ソニーHC
BRAVIA Ladies 4 $\left(\begin{array}{c} 2-1 \\ 2-1 \end{array} \right)$ 2 グラクソ・スミスクライン
Orange United

<準決勝>

コカ・コーラウエスト
レッドスパークス 1 $\left(\begin{array}{c} 0-1 \\ 1-0 \\ 0EX0 \\ 2so1 \end{array} \right)$ 1 南都銀行
SHOOTING STARS

第1試合

ソニーHC BRAVIA Ladies	4	$\left(\begin{array}{c} 2-1 \\ 2-1 \end{array} \right)$	2	グラクソ・スミスクライン Orange United
	4	PC	3	
	12	シュート	7	

得点	ソニー→ 7分永井友、11分坂井、39分林、69分小沢
	GSK→ 19分大石、53分伴田
戦評	<p>ソニーのセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げる中、ソニーは前半8分FW#10中島のパスを受けたFW#19永井友がGKをうまく交わしゴールを決め先制する。前半12分にもPCを獲得しFB#4坂井がフリックシュートをゴール左下に決め2-0とする。追いつきたいGSKは19分にPCを獲得。MF#14遠藤のシュートは、ソニーGK#1浅野にセーブされるが粘るGSKのFB#7大石がこぼれ球に反応、リバースシュートを決め2-1と差を縮める。その後は両チームともチャンスをつくるが得点に繋げることが出来ず2-1のまま前半を折り返す。</p> <p>後半開始早々ソニーはPCを獲得。FB#2林のヒットシュートはGSK・DFのスティックを弾き飛ばし、左上にゴール、3-1と突き放す。それでも猛追するGSKは54分にPCを獲得。FB#伴田がヒットシュートをゴール右下に決め3-2とまたも1点差とする。60分を過ぎても両チーム走力あふれる白熱ゲームを展開する。しかし、64分にソニーのFW#15小沢がダメ押しとなる追加点を奪いそのまま試合終了。4-2でソニーが勝利し、10年連続24度目の決勝進出を決める。</p>

テクニカルオフィサー	我妻活美	アンパイア	山田恵美
ジャッジ	西上英雄		壽山由樹

第2試合

コカ・コーラウエスト レッドスパークス	1	$\left(\begin{array}{c} 1-0 \\ 0-1 \\ 0EX0 \\ 2so1 \end{array} \right)$	1	南都銀行 SHOOTING STARS
	4	PC	2	
	8	シュート	5	

得点	コカ→ 59分西村
	南都→ 19分諏訪
戦評	<p>コカのセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから両チームとも激しい猛攻を仕掛ける。序盤のコカのチャンスは得点に至らない。南都は19分に22m付近からMF#8爲藤が強烈なセンタリング、コカDFのファンブルを誘い、嗅覚よくオーバーラップしてきたFB#諏訪が押し込み先制する。27分にはPCを獲得するなど南都の攻撃が続きそのまま前半終了。1-0で南都の1点リードで折り返す。</p> <p>後半はコカが必死の反撃を南都陣内で展開。6分にはFW#9新井がチャンスをつくるが南都の堅い守備に阻まれ得点を奪うことが出来ない。その後南都も追加点を狙いカウンター攻撃もシュートはゴールマウスをとらえることが出来ない。追い付きたいコカは60分にPCを獲得。FB#18李のシュートのリバウンドをMF#5西村が押し込み1-1の同点とする。その後一進一退の攻防も得点を奪うことが出来ず1-1の同点のまま延長戦へ突入する。</p> <p>延長は両チームともにチャンスをつくるがゴールは遠く、得点できず、SO戦へ突入する。SO戦は2-1でコカの勝利で6年連続6度目の決勝進出を決める。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	Kim Jnug Hee
ジャッジ	若林美枝		安岡裕美子